

議会だより



運動会シーズン

みどり市内では、9月中旬から10月中旬にかけて多くの運動会が開催され、市民の歓声が響きました。

今回の表紙は平成29年9月30日(土)に秋晴れの中、開催された笠懸小学校運動会の6年生徒競走の一コマです。

平成29年 第3回定例会 (9月)

〈主な内容〉

本会議	2~3
決算特別委員会	4~5
常任委員会報告	6
一般質問	7~19
まちの声	20

平成28年度

決算を認定

平成29年第3回定例会は、9月4日から9月27日まで24日間の日程で開催されました。

市長からは、平成28年度決算をはじめ条例改正、平成29年度補正予算など32議案が上程され、慎重審議の結果、原案のとおり可決し、一般質問には19名が登壇。市政についていただきました。

市長提出議案

可決、承認された議案は次のとおり

- ◆平成28年度一般会計歳入歳出決算
- ◆同 太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算
- ◆同 鉄道経営対策事業特別会計歳入歳出決算

- ◆同 国民健康保険（事業勘定）特別会計歳入歳出決算
- ◆同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計歳入歳出決算
- ◆同 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ◆同 介護保険（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算

- ◆同 介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算
- ◆同 戸別浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
- ◆同 簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- ◆同 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- ◆同 企業用地整備事業特別会計歳入歳出決算

- ◆同 下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ◆同 富弘美術館事業特別会計歳入歳出決算
- ◆同 競艇事業特別会計歳入歳出決算
- ◆専決処分した事件（平成29年度一般会計補正予算（第2号））
- ◆市税条例の一部改正
- ◆過疎対策のための市税（固定資産税）の課税特例に関する条例の一部改正
- ◆市立保育園条例の一部改正
- ◆財産の取得

補正予算

- ◆平成29年度一般会計予算（第3号）
- ◆同 太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆同 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 後期高齢者医療特別

議会提出議案

- ◆会計補正予算（第2号）
- ◆同 介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 戸別浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆同 簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆同 下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 富弘美術館事業特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 競艇事業特別会計歳入補正予算（第2号）
- ◆市長の専決処分事項の指定についての一部改正
- ◆市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出

請願審査

- ◆地方財政の充実・強化を求める請願 ↓ 継続審査

監査意見の要旨

平成28年度一般会計の歳入決算額は、前年度より5・0%減額となったが、自主財源の根幹となる市税収入は、1・0%増加した。これは市税収納率が前年度を1・0ポイント上回り、収納未済額も20・9ポイント圧縮できたことが要因であり、収納対策については一定の効果が現れたと評価する。納税の公平性確保のため、引き続き滞納額縮減に向けた取り組みに期待する。一方、経常収支比率は、地方交付税の縮減などにより94・6%と前年度を4・6ポイント上回り、財政構造の弾力性が後退した。健全な財政運営を維持するため、財源の確保に向け一層の努力を望むものである。

歳出については、前年度よりも7・1%減額となった。執行率は90・9%と前年度を1・3ポイント下回り、例年に比べて低い数値

となった。また、当初予算額と支出額に大きな隔たりが見受けられた。このことは予算編成時の事業計画や積算の甘さに起因していることから、職員の資質および専門性の向上を図り、着実な事業の遂行を切望する。さらに予算執行業務において、チェック体制が十分機能していない事案が見受けられたことから、事務の適正化を図らねばならない。併せて費用対効果の観点から、市民への情報発信を行う事業は、有効的な周知方法を十分模索されるよう努められたい。



天川洋 代表監査委員

平成29年度 各会計補正予算一覧表 (9月補正)

会計区分		補正額	補正後の額
一 般 会 計		2億2,852万5千円	197億5,852万5千円
特 別 会 計	太 陽 光 発 電 事 業	2,105万2千円	7,457万8千円
	国民健康保険(事業勘定)	2,688万9千円	67億1,309万8千円
	国民健康保険(診療所勘定)	1,149万0千円	1億7,834万2千円
	後 期 高 齢 者 医 療	0	4億9,317万3千円
	介護保険(保険事業勘定)	1億903万3千円	44億6,871万6千円
	戸 別 浄 化 槽 事 業	0	412万5千円
	簡 易 水 道 事 業	0	1億1,305万9千円
	農 業 集 落 排 水 事 業	0	7,698万1千円
	下 水 道 事 業	0	13億1,413万9千円
	富 弘 美 術 館 事 業	41万8千円	1億5,920万0千円
競 艇 事 業	3,608万4千円	1,100億3,249万4千円	

※補正額「0」は歳入予算の組替えを表します。

決算特別委員会

本委員会に付託された案件は、認定第1号平成28年度みどり市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、認定第15号平成28年度みどり市競艇事業特別会計歳入歳出決算の認定についてまでの15件である。

本委員会は、議長を除く19名で構成される特別委員会として設置され、9月12日に今泉健司委員長、武井俊一副委員長を選任した。9月13日、14日、15日の3日間にわたり、議場において19名の委員出席のもと、市長をはじめ執行部局の出席を求め、審査を行った。決算審査に当たっては、執行部から提出された決算書、そのほかの資料をもとに、担当部長、担当課長などから詳細な説明を受け、各議案を慎重に審査した。採決の結果、全議案を原案のとおり認定すべきも

のとすることに決定した。

なお、審査の過程において、各委員から貴重な指摘及び要望、意見が述べられたことは、これらの提案を含め、今後、行政執行の上で、十分留意され、改善が図られるよう執行者及び関係部局に提言する。

主な質疑

問 平成28年度市税全体において、不納欠損処分した件数の内訳と増加した理由は。

納税課長 不納欠損処分した件数の内訳については、平成27年度と比較し、66件増加し1309件となった。また、金額ベースでは、平成27年度と比較し、15万1809円減額となった。不納欠損処分した件数が増加した理由については、処分することができない債権などの処理を的確に行って

きた結果である。

問 平成28年度において、普通交付税の一本算定替えの影響は。

財政課長 平成28年度の普通交付税額は、39億3252万3000円となったが、普通交付税の一本算定替えによる影響は、平成28年度において縮減率は10%、影響額は6325万2000円となった。

問 みどり市職員に行ったストレスチェックの対象者数と概要については。

総務課長 対象者数は、正規職員370人、嘱託職員97人、臨時職員56人の合計523人である。厚生労働省が示す76項目で構成されたアンケートを実施した。その結果として全国平均のリスク値を100とした場合、みどり市職員全体のリスク値は92であった。この結果に安心することなく環



今泉健司 決算特別委員長

境整備の充実に努めている。また、みどり市職員の中には高リスク値の職員もいたために産業医の面接などを行い適正な対応をとっている。

問 防犯灯工事の内容と行政区長からの要望の対応については。

危機管理監 平成28年度の新規設置は56基であった。平成27年度と比べ64基減少したが、行政区長からの要望のあったものに対しては、みどり市防犯灯設置要綱に基づき全て対応した。

みどり市議会改革調査特別委員会公聴会開催について

市民の皆様から公述人（以下について発言される方）を公募し、ご意見をうかがう会議を開催します。

- ◎案件 議員定数を現行の20人から18人とするについて
- ◎日時 平成29年11月19日(日) 午前10時開会
- ◎場所 みどり市役所 大間々庁舎 大会議室

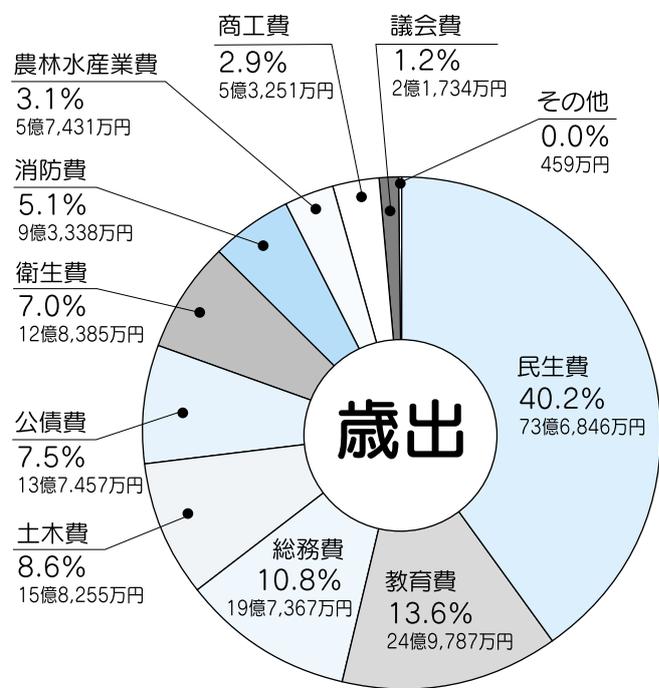
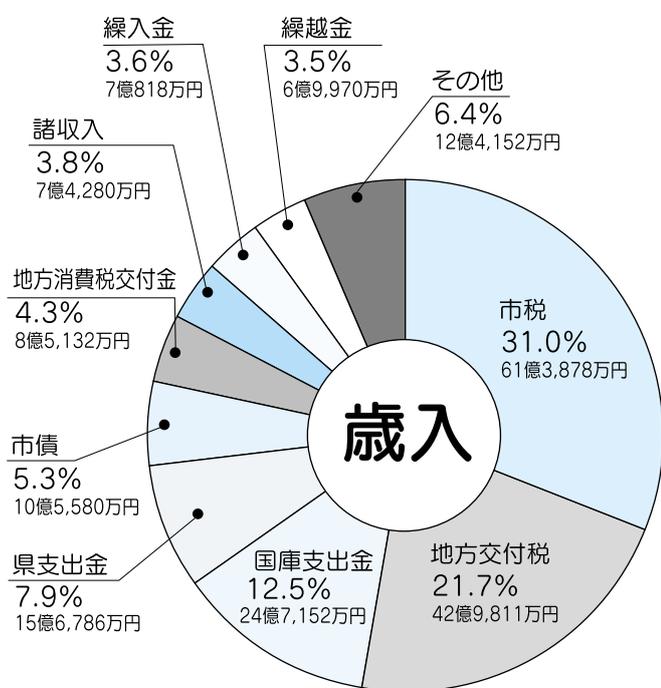
※会議は公開で行いますので、傍聴することができます。詳細は市議会ホームページをご覧ください。

※一本算定替え…合併後10年間は、合併前の市町村ごとに算定した交付税の総額が配分されていたが、合併11年目から配分額が段階的に減らされ、16年目には純粹に1つの自治体として交付税が算定されること。

※産業医…事業場において労働者の健康管理などについて、専門的な立場から指導、助言を行う医師のこと。

平成28年度 決算概要

一般会計	入ってきたお金	使ったお金
合計（内訳は下のグラフの通り）	197億7,559万円	183億4,310万円



特別会計	入ってきたお金	使ったお金
太陽光発電事業特別会計	1億1,731万円	7,910万円
鉄道経営対策事業特別会計	4,156万円	4,156万円
国民健康保険（事業勘定）特別会計	67億4,600万円	67億1,911万円
国民健康保険（診療所勘定）特別会計	1億7,569万円	1億5,970万円
後期高齢者医療特別会計	4億8,105万円	4億7,703万円
介護保険（保険事業勘定）特別会計	42億3,474万円	41億979万円
介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計	49万円	48万円
戸別浄化槽事業特別会計	370万円	301万円
簡易水道事業特別会計	1億1,147万円	1億324万円
農業集落排水事業特別会計	6,746万円	5,885万円
企業用地整備事業特別会計	150万円	0万円
下水道事業特別会計	10億1,205万円	9億4,099万円
富弘美術館事業特別会計	2億6,032万円	2億5,015万円
競艇事業特別会計	1,186億8,464万円	1,183億2,855万円

総務文教 常任委員会

本委員会は執行部出席のもと9月21日に開催した。

付託された議案

●財産の取得について

平成10年8月に購入し20年目となる、みどり市消防団第15分団消防ポンプ自動車について、みどり市消防団車輛更新計画に基づく車輛の更新を行うもの。

質疑討論もなく、採決の結果、挙手全員により本案



は原案のとおり可決すべきものと決定。

●地方財政の充実、強化を求める請願について

社会保障、人口減対策など増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の留保を図るもの。

委員からは採択すべきとの意見もあったが、専門用語を含め、さらに調査、研究が必要であるとの意見が出された。

採決の結果、挙手多数により継続審査に決定。

市民福祉

常任委員会

本委員会は執行部出席のもと9月19日に開催した。

付託された議案

●市税条例の一部改正

改正内容は、保育の受け皿整備を促進するため、固定資産税の特例措置として、地域決定型地方税制特例措置「わがまち特例」が導入されたことにより、企業主導型保育事業および家

庭的保育事業等に係る固定資産税の課税標準額に乘じる特例割合を2分の1に定めるようとするもの。

該当する事案があるのかどうか、さらに、今後見込まれるかという質疑があり、該当する資産などについては見込めないとの説明。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により本案は原案のとおり可決すべきものと決定。

●過疎対策のための市税(固定資産税)の課税特例の関する条例の一部改正

改正内容は、固定資産税の課税免除の対象となる業種について、情報通信技術利用事業を廃止し農林水産物等販売業を追加するもの。情報通信技術利用事業を廃止した理由と、農林水産物等販売業に変更した後、該当が見込めるのかという質疑あり。コールセンターなどが該当するが過去の統計などから実績がなく、新たに追加される農林水産物等販売業について

は、見込まれる案件はないとの説明。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により本案は原案のとおり可決すべきものと決定。

●市立保育園条例の一部改正

改正内容は、受け入れ児童の対象年齢を「満1歳」から「生後5カ月」に拡充するもの。

1歳未満児の入所状況において、平成28年度で希望して入所することができなかった状況があったのかについて質疑あり。入所できなかった園児はないとの説明。

さらに、公立保育園が産休明けからの保育ができない理由について質疑あり。笠懸第1保育園ではもく浴、調乳の設備を備えていなかったことから、平成30年4月を目指し、受け入れられる準備を整えていく。その中で、まずは授乳量や授乳時間なども規則的になり、体もすっかりしてくる生後5カ月から始め、経験を積み上げたいとの説明。

また、今後の施設整備については、産休明けの受け入れが可能なものなのかという質疑あり。設備的には対応できるもの、だという説明。

次に、職員体制としては、現行のままか、それとも増員かについて質疑あり。予定では、保育士の配置基準に基づき、1人増員となるとの説明。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により本案は原案のとおり可決すべきものと決定。



市政を問う

一般質問

※一般質問は、質問者本人が作成した原稿をもとに編集しています。

Q 約10億円の財源不足に陥るのでは A 行政改革を進めてきた

伊藤 正雄 議員



問 人口対策と将来ビジョンについて、国の将来ビジョンを描く際、まず把握しておかねばならないのは、人口動態だ。産業政策、国土政策、雇用政策、社会保障政策など、あらゆる政策は将来人口によって大きく左右される。日本は2008年をピークに人口減少に突入し、何も手を打たなければ、2010年に1億2806万人から2050年には9708万人となる。要因は、未婚化、晩婚化、若者の大都市への流出がある。みどり市の定住状況について、みどり市人口ビジョンによると生まれたとき

からの定住者は、笠懸地区では40%、大間々地区では52%、東地区では71%となっているが、みどり市の住みやすさ、就職後の帰郷意向、目標出生率はどうなっているか。

総務部長 みどり市人口ビジョンによれば、みどり市の住みやすさについて、住みやすい、どちらかといえば住みやすいとの回答が64・1%、就職後の帰郷意向については、みどり市に

ぜひ戻ってきたい、すぐには戻らないがいつかは戻りたいとの回答が33・6%。2040年までの目標出生率は2・20人。

問 みどり市職員の市内、市外在住者の状況は。

問 経常収支比率は、平成25年度が87・5%、平成28年度は94・4%だ。80%を超えるとは財政の弾力性に欠けるといわれるが、合併して10年度から地方交付税の一本算定替が始まり、平成32年には単年度で7億円収入減となり、給食費無料化と合わせ、10億円近い歳入欠損が生じるのでは。

総務部長 そうした時期が来るのを想定して行政改革を進めてきた。急激な財政不足による行政の停滞は起こさないよう進める。



問 みどり市3町の人口動向は。

市民部長 平成26年3月全体で5万2067人、笠懸町2万9969人、大間々町1万9968人、東町2401人。平成29年3月全体で5万1489人、笠懸町3万0021人、大間々町1万9371人、東町2097人。

次回定例会 (予定)

11月28日(火)から

午前9:30~

皆さんの傍聴をお待ちしています。
問い合わせ ☎76-1970

Q 阿左美岩宿交差点の右折ラインは設置できるか

A 桐生土木事務所に要望していきたい

大澤 映男 議員



問 未登記地の進ちよく状況は。

都市建設部長 平成20年は未登記地979件だったが、境界の立ち合いや開発事業の中で新たに確認された案件もあり、平成28年度現在1090件。処理件数は595件。進まない原因として、所有者死亡で相続人が多数のケースや寄付以外の方法を求めているなど、対策として難しい事業が多いため一部は、顧問弁護士と協議しながら処理を進めている。

に岩宿駅周辺3カ所の交差点交通量調査を実施し、結果に基づき、方策として信号機の時間調整や平成29年度県道太田大間々線と国道50号の岩宿交差点、県道北側に左折ラインを取るための設計を実施する予定。

問 阿左美岩宿交差点の右折ラインは設置できるか。

都市建設部長 市も右折ライン設置は渋滞解消に有効と考える。桐生土木事務所に要望していきたい。

問 笠懸小学校分離新設は、どこまで進んでいるのか。

教育部長 候補地を絞り地権者に測量調査、土地鑑定評価などへの協力をお願いしている。

問 新設小学校の建設場所は。

教育部長 地権者全員の土地売買の了解が得られれば発表できるが、現時点ではそこまで至っていない。

問 市長の任期もあと半年。仕事半ばというなかで、後ろ髪を引かれる思いはないのか。

市長 正直に話すと11年半前、3期しかやりませんとある意味生意気な公約をした。自分を律するために数字を設定し選挙を戦ったわけだが、3期やらせてもら

って後ろ髪引かれる思いはなくはない。できるならもうちょっとやりたい。はつきり言つてやせ我慢しているし、見栄も張っている。思いはたくさんあるが、未練があるうがなかるうが、やせ我慢しようがしまいが、ここは一人の人間として約束は守らせてほしいとも思っている。もう1回言わせてもらえば、やせ我慢をしている。



Q 出生数などの推移はどうか

A 平成28年度の出生数は377人と減少

須永 信雄 議員



問 みどり市人口ビジョン作成後、1年半ほど経過した。人口ビジョンでは平成

26年度の合計特殊出生率は1・53となっており、この前後は同程度の値で推移している。この合計特殊出生率の1・53から、短期目標として平成32年度に1・66と設定した。みどり市人口の自然増を考えるうえでは厳しい目標だ。達成は必須だと思うが、根拠と方策についての考えは。

総務部長 目標は高く、達成については容易でないと認識している。決定するに当たっては、みどり市の3地域の特性に合わせて、それぞれの地域で短期、中期、長期の目標を定めた。

問 平成26年度から28年度までの特殊出生率や自然増分の推移はどうか。

市民部長 平成26年度は合



杉山 英行 議員

Q 西鹿田中島遺跡と岩宿遺跡の連携は A 鹿田山を経由する散策コースを検討

計特殊出生率は1・53で出生数は392人。平成27年度は出生率は1・62、出生数は408人だ。平成28年度の出生率は未発表だが、出生数は377人となっており減少した。

問 転入による社会増を考えると都市計画で各種インフラを整備することは重要だ。笠懸町鹿まで延びる県道世良田バイパスの完成を控え、市道整備、雨水排水対策はできているのか。国道50号の整備にも国の予算は増えたが、みどり市内は遅れている。国、県との協議を進め都市計画をすべき

だ。

都市建設部長 現在、県道世良田バイパスの完成に向け市道1級5号線、同2級8号線、道路拡幅工事に取り組んでいる。今後は群馬県の計画案が見直されてくるので、マスタープランも見直していく。

問 合計特殊出生率が満たされ、その後は人口減少が緩慢になり微増へと向かうことに期待する。転入による社会増を確保するため転出の抑制を図り、イターン、Uターンによる転入増も重要課題だが。

市長 人口減少の影響は、

問 岩宿博物館第一駐車場の整備で利便性向上は。

教育部長 利用者は、来館者、岩宿の里ふれあい市、社会福祉協議会、かたくりの湯など。駐車枠が狭いのは事実で、北側の一部を改修し、分離帯を撤去し駐車

枠を拡げたことにより、12台から15台に駐車台数が増えて利便性が向上した。残りの部分は狭い状態である。今後、岩宿遺跡の追加指定を受けて、岩宿遺跡周辺を含め活用計画を総合的に策定する必要がある。



税収の減少、予算の圧迫、地域コミュニティの崩壊など影響は甚大となる。人口増政策は必要に応じ進めるが、長い時間を必要とすることを理解いただきたい。

その中で利便性の向上を図る。

問 計画に着手する時期は。

教育部長 岩宿遺跡の追加指定は平成29年秋、正式決定になる。平成30年度に基本構想を含めて計画を策定する。

問 岩宿ドームの駐車場の管理について。

教育部長 来館者とトイレ利用者などが駐車している。長時間や夜間駐車には目が行き届かない。今後、駐車場の利用看板を設置する。

問 岩宿遺跡全体の駐車場の駐車枠の改修は。

教育部長 駐車場全体の木の枝の伐採は準備している。第一駐車場と同じに改修計画を検討する。

問 駐車場の整備は。

教育部長 平成30年度に整備計画を作る中で、優先的に整備を考えている。

問 西鹿田中島遺跡の整備計画は。

教育部長 平成29年度は、ガイダンス施設、住居跡復元工事、展示品製作業務で、



平成30年3月に整備完了を予定している。

問 施設の維持管理は。

教育部長 植栽や芝生は史跡管理員が行い、ガイダンス施設の管理業務は地元との協力を受けた。

問 西鹿田中島遺跡と岩宿遺跡との連携は。

教育部長 体験学習の連携と国指定史跡を結ぶ散策路として、鹿田山を経由する史跡巡りを安全で自然を楽しめるコースを検討する。

Q 相談できる人はいますか

A 悩みを抱えている人も少なくない

上岡 克己 議員



問 ひとり暮らし高齢者の

生活実態を把握し、保健福祉政策の参考資料にするため群馬県が取りまとめた、ひとり暮らし高齢者基礎調査がある。その中で相談できる人はいますかの問いに対して、相談できる人がいないと3319人中38人が答えたが、考えは。

保健福祉部長 核家族化や地域社会のつながりが希薄になっていく今日、孤立する高齢者の身近な相談相手として民生児童委員や地域包括支援センターの存在がある。しかし、悩みを抱えている人にとっては、こうした相談相手がいても話せない、家族や知人、友人はいるが話せないといった悩みを抱えている人も少なくない。人とながる、人と共感できることの大切さを大事にし、そうした悩みを抱える人を支えられることが、今までもこれからも求められると考える。

問 同じく高齢者基礎調査によると、日常生活や地域のことなどで不安に感じることがありますかとの問いに、健康に関すること、体調を崩したときの身の回りのことなどの他に、身近に相談相手がいないという方が2735人中48人いたが。

保健福祉部長 日常の買い物に行くことができるが、一度に多くの物を運べない、ゴミ出しや電球の交換など体の衰えで一人での行動に心配がある。このような日常生活のちょっとした困りごとでも、なかなか他人には頼みづらいといった

人もいると考える。家族や知人などに頼める人はこれに越したことはないが、そうした支え手のいない人を手助けする必要があると考える。現在、モデル事業として実施している安心支援事業について、市全体で実施できるよう事業の拡大を

Q 農振除外申請の進捗よく状況は

A 認可が得られるよう進めている

阿左美 守 議員



問 (仮称)西鹿田グリーンパークの農振除外申請の進捗よく状況は。

都市建設部長 4 ha以上は

していききたいと考えている。



群馬県と協議し進めているが、国への提出書類作りには時間を要している。平成29年度中には認可が得られるよう進めている。

問 用地買収の状況は。

都市建設部長 地権者は32名で、面積6万2700m²。

説明会に来られない人には、事業計画を送付し、これから交渉を始める。

問 造成工事との協議は。

都市建設部長 桐生土木事務所管内の公共工事発生の残土とみどり市の基盤整備盛土などを使用する。平成31年度に用地買収を完了させ、平成32年度から34年度に造成工事を予定している。

問 陸上競技場の計画は。

教育部長 群馬県の基盤整備工事完了後工事着手となる。整備スケジュールを立て、平成28年度は他市の競



**Q 開催日数に応じた予算配分を
A 行事内容や設営経費を重視したい**

椎名 祐司 議員

問 みどり市の各夏まつり補助金の予算額は。

産業観光部長 平成29年度、大間々祇園まつり890万円。草木湖まつり650万円。笠懸まつり885万円。
問 みどり市の各夏まつりは開催日数が違っている。開催日数に応じた予算配分を考えていく必要があると思うが。

産業観光部長 打上花火やイベントにかかる費用も年々増加傾向にあり、各まつり実行委員会の中で予算配分について意見を出し合っている。開催日数より、行事内容や設営経費などを重視した予算配分を行う必要があると考えている。

技場の資料を取り寄せ、平成29年度は建設現場や改修現場の視察を行った。今後は体育関係団体で組織を立ち上げ、スポーツ推進計画に位置づけていく。
問 周辺の道路整備で県道笠懸赤堀今井線の歩道拡幅を群馬県に要望は。
都市建設部長 前橋笠懸道路も始まるので、桐生土木事務所に要望したい。
問 県道境木島大間々線の西鹿田交差点、寺内交差点の右折レーン改良工事を県に要望しては。

都市建設部長 今後、大間々世良田線の延伸計画に合わせて群馬県に要望していく。
問 市道1078号線の道路改良計画の予定は。
都市建設部長 平成30年度から道路南側に歩道設置工事を進めていきたい。
問 西鹿田峰地区に工業団地の造成を検討しては。
副市長 地域の道路整備が進めば工業団地造成は考えたいが、また時間がかかる。世良田バイパスの整備に合わせて計画を立てていく。



問 自殺対策基本法の一部改正で市町村自殺対策計画を定めるとされているが。保健福祉部長 平成29年度は群馬県が策定するので、他市の状況を見ながら自殺対策計画を策定したい。
問 歯と口腔の健康づくり推進条例制定に向けた市の考えは。
保健福祉部長 みどり市でも条例制定の方向で検討に入っている。市に関係する桐生市歯科医師会、太田新田歯科医師会と調整しながら制定していきたい。
問 要害山周辺、草木湖周辺、鹿田山周辺を中心とした健康ウォーキングコースを設定し、歩くことで多額の医療費削減効果があるような取り組みも考えていく必要があると思うが。
保健福祉部長 平成29年度、特定健診による指導対象に活動量計を用いたウォーキング事業を実施し、医療費削減を目指していきたい。



しみながら健康を考えられるようなマップづくりも必要だと思うが。
産業観光部長 健康志向が高まっているので、歩数や消費カロリーなどのデータや記載内容など研究したい。
問 毎年5月4日、みどりの日に市民の健康増進と交流人口の拡大を図るためのウォーキングイベントを開催しては。
産業観光部長 今後、ウォーキングを取り入れて健康増進につながるイベントについて実施していきたい。

Q 公共施設のトイレ洋式化は

A 必要性を認める

古田島 和茂 議員



問 公共施設の洋式トイレ未設置数と洋式化の必要性をどう考えるか。

総務部長 現在47施設で未設置。家庭での洋式化や不特定多数の人が利用しやすいことを考慮すると、必要と言える。

問 今後の改修計画は。

総務部長 市民のニーズが多様化する中、洋式や和式などのバランスを考え取り組む必要がある。また、多目的トイレ、オストメイトなどの設置も順次行っている。今後も計画を立て洋式化していく。

問 指定避難所、待避所の指定を受けている東町社会

体育館や青年研修センターの洋式トイレ設置計画は。 **教育部長** 屋外には設置してあるが、屋内にはない。利用者などからの要望もあり、計画的に改修を行う。

東支所長 現在、洋式トイレが一般的なので対応しなければならぬ。青年研修センターのトイレを洋式化するには大規模な改修となる。屋外トイレも視野に入れた中期計画の中で行いたい。

問 100%国から財政支援を受ける地域おこし協力隊制度は、継続するか。また、隊員数に制限はあるか。新たな募集は考えているか。

東支所長 9年目となるこの制度は全国各地で実績を上げていることから、継続したい。隊員数の制限はない。現在3人が活動しているが、平成30年度は活動の検証年とし、募集はしない。

平成31年度以降は国の動向を見極め関係者などと協議し、みどり市全体で対応する。 **問** 地域おこし協力隊の最終目的は、定住、定着、起業である。みどり市は、この受け皿づくりはしないのか。

Q

A 学校およびPTA、地域住民の意見を聞き進める

武井 俊一 議員



問 県道桐生伊勢崎線阿左美大原工区の進捗よく状況と、関連してみどり市が実施する事業の取り組みと進捗よく状況は。

か。 **東支所長** 協力隊員の意向を十分踏まえ、企業への紹介、遊休農地利用策の啓発などを考えている。

古田島 中山間地域を持つみどり市にとり、大いに貢献する国の制度である。十分取り入れるよう提言する。

都市建設部長 阿左美大原工区は、平成26年度に事業化、延長約2000メートル、道路幅員25メートル。現在、阿左美駅から県道太田大間々線交差点部までの用地取得を優先して進めている。群馬県が実施している事業の進捗よく状況は、平成29年3月末で事業全体の11%。関連するみどり市の取り組み事業は、県道桐生伊勢崎線笠懸東小学校入



口交差点変則5差路の北側市道改良を予定。平成29年度県道への市道の取り付けを調査実施している。道路計画では、笠懸東小学校児童の通学の安全を第一に考えている。 **問** 阿左美アンダーの機能充実の考えは。 **都市建設部長** 群馬県は機能補償として既存アンダーを活用し、県道桐生伊勢崎線の道路拡幅時に、取り付

問 防空監視哨跡がみどり市指定遺跡になった経緯は。



常見 詔子 議員

Q 防空監視哨跡の経緯は A 戦後50年を記念し、文化財に指定された

教育長 平成7年、当時の東村から戦後50年を記念し、所有者に文化財指定の薦めがあり、指定された。
問 市のホームページには指定史跡となっているが。
教育長 調査では重要文化財に指定されていることから、早急にホームページや資料などの誤りを訂正した

い。
問 群馬県内に監視哨跡はあと1カ所あるが。
教育部長 平成16年に長野原町の指定を受けた監視哨跡がある。
問 市の監視哨跡は指定遺跡とだけ書かれ何の説明文もないが。
教育部長 現地の標柱も訂

け道路を延伸する予定。既存アンダーを活用するため、交互交通と考えている。阿左美バイパス整備により雨水排水環境が変化することから、排水能力が向上したポンプに交換を予定。みどり市としての機能の充実は、群馬県の機能補償の範囲内を施工原則としているが、地元の意見を聞き既存アンダーの安全性確保に向け精査していく。
問 県道桐生伊勢崎線改良事業に関して、今後地元意見の意見を聞く機会は。

都市建設部長 学校やPTA関係を含め、地元意見を聞きたい。
問 既設の横断歩道橋の取り扱いは。
都市建設部長 群馬県としては、みどり市で予定している阿左美駅前広場の整備を含め、地域の意見を聞き進めていくとのこと。
問 笠懸東小学校通学路の安全確保は。
都市建設部長 学校、PTA、地域住民の意見を聞き、児童の安全第一を考え、群馬県と協議し通学路の安全



対策を進めていく。

正したい。
問 標柱の訂正のほかに、田んぼにある監視哨跡までの案内看板や重要文化財の説明文、駐車場の位置なども見学者に分かりやすくしてはどうか。
教育部長 現地に近い公道を利用する案内板や見学者用の駐車場案内などをホームページやパンフレットなどで周知していきたい。
問 非核平和都市宣言をしている市として、平和の願いを文化財所有者だけに負わせるのではなく、市の責任としてどう対応していくのか。
教育長 いままで認識がなかったが、今後どうするかは所有者と相談して進めていく。この監視哨跡が文化財として今後も活用され、再び戦争の惨禍が繰り返されることはないよう、市民が戦争について考える場所として、市内小中学生の学習教材として有効活用ができるよう研究し、方向性を出す必要がある。
市長 非核平和都市宣言、そして平和首長会議に加盟



している市として、悲惨な戦争が二度と起こらないように、また、起こさないためにも、先の戦争の生き証人もいえる東町の監視哨跡について、大切にしていかなければならない。市内には監視哨跡だけでなく、戦没者慰霊のための忠霊塔なども存在する。平和の大切さについて考える場所として理解を深める施策も進めていきたい。

Q 給食残飯の有効活用は

A リサイクルでゴミ減量効果大

深澤 輝彦 議員



問 各校での給食残飯の処理の現状はどうか。

教育部長 大間々学校給食センターでは、厨芥処理システムを導入しており、粉碎、脱水して生ゴミとして処理している。東学校給食センターや笠懸の自校方式の各調理場では、厨芥処理システムがないので、野菜クズや残飯をできるだけ脱水して生ゴミとして処理している。これらの生ゴミは、一般家庭から出される生ゴミと同様に可燃ゴミとして、桐生市清掃センターで焼却処理している。

教育部長 平均の数値は、大間々学校給食センターでは81・4キロ、笠懸の自校方式調理場が86・3キロ、東学校給食センターが8キロで、合計175・7キロである。

問 残飯をゴミにせず、有効に活用できないか。

市民部長 残飯の肥料化については、平成26年10月に中央環境審議会から、今後の食品リサイクル制度のあり方という意見具申があった。残飯を回収、再利用してゴミを減らしていこうという提言である。県内でも既に取り組んでいる自治体もあるが、収集運搬に係る費用負担の問題や、一般廃棄物処理業許可の問題などが発生する。しかし、残飯は水分を多く含んでいるため、リサイクルできれば減量効果は大きいし、再資源化の面で研究する意味がある。

教育部長 これまで肥料化を生業としている業者との連携に欠けていた。今後の課題としたい。

問 みどり市では平成29年度から、給食無償化を始めた。これは単に経済的な支援に留まらず、食育の面か

Q 避難所や備蓄、情報伝達などは

A 市内全域伝達システムの確立をめざす

田部井多市 議員



問 市内の避難所や備蓄、情報伝達などはどうなっているか。

危機管理監 避難所61カ所、待避所12カ所を指定し

らもなされていると聞いている。残飯を肥料化し、それで栽培した野菜を給食の食材にし、その過程を児童生徒に見学してもらえば、食育の観点からも望ましいのではないか。

教育部長 残飯を肥料化して育てた野菜を食材とすることは、食育の観点から望ましいと考える。他市の状況も研究したい。

ている。備蓄はアルファ米1万5千食、水ペットボトル1万本、毛布2100枚、クラッカー1万5600食分と、水道管に直結した貯水槽を18基設置している。防災防犯情報メールの配信登録は2300人。現在まだ設計が完成した段階だが、市内全域の災害情報伝達システムの確立を目指している。



Q 子育て世代の定住化に出生祝い金を A 具体的な実施方法などを検討している

高草木良江 議員



問 桐生市では、お試し暮らし移住施策を実施しているが、みどり市も若者の転出抑制策や移住定住支援施策に力を入れるべきでは。
都市建設部長 現在、空き家の実態調査を行っている。桐生市も参考に関係部局と連携して研究していきたい。

問 群馬県内でも家賃補助や新築、増改築補助などの支援策を、移住、定住希望者へ実施している市町村があるが。
都市建設部長 総合戦略の中で、空き家賃補助事業や転入世帯生活基盤構築支援事業を位置づけている。

新築、増改築リフォーム補助は、転入者支援として取り入れていく価値がある。今後体制を整え検討していく。

問 定住促進対策で住宅取得費補助や住宅資金利子補給については。
総務部長 移住定住促進に関わる住宅取得費補助は総合戦略に位置づけている。また調査研究の余地はあるが、固定資産税を軽減して移住定住促進を図る事業を考えている。今後、利子補給も含めて検討していきたい。

問 移住、定住施策は重要である。専門部署を早期に設置するべきでは。
総務部長 総合戦略など、さまざまな事業がこれから予定されている。少なくとも窓口を一本化できるように調整する必要がある。至急に研究をしたい。

問 若者や子育て世代の定

※写真はイメージです。



住支援策として、出生祝い金制度の創設に取り組んでどうか。

市民部長 総合戦略の中で結婚、出産、子育てに係わる新規事業として、子育て世代の経済的支援として位置づけている。現在、金額や条件の具体的な実施方法をより効果的になるよう検討している。

問 イターン、Uターンや若者の市内定住施策とし

て、市独自の給付型奨学金制度を創設するべきでは。
教育部長 しっかりと奨学金制度がある自治体としてアピールすることでイタ



ーン、Uターンに結びつく。本市在住が条件とした給付型奨学金制度など、市独自の新たな奨学金制度を検討したい。

傍聴をお待ちしています

議会では、市のさまざまな計画や市民の生活に直面したことなどが議論されています。

本会議は、どなたでもご覧いただけますので、ぜひ傍聴にお越しください。

問い合わせ先

みどり市議会事務局 ☎76-1970

会議録を公開しています

市議会の会議録を公開しています。市のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.city.midori.gunma.jp/gikai>



Q 学校における民意尊重とは何か

A 担当部長に答弁させる

海老根 篤議員



問 学校における民意尊重とは何か。

市長 担当部長に答弁させる。

問 市内の小中学校高学年、中学生にイジメアンケートは実施したか。

市長 担当部長から答弁させる。

問 市内の平成27年7月の事件について、市長として当該中学校や議会に対し何か指示したか。

教育部長 答弁は控える。

問 市内の平成28年7月某刑事事件について当該中学校や議会に対し何か指導したか。

教育部長 命の大切さに関

する指導の充実などを市内の各学校に指示した。

問 昨年2月28日の議会への強い申し入れは民意尊重か。

総務部長 質問の内容が理解しがたいため答弁を控える。

問 昨年9月5日の議会への要望は議会への私意介入ではないのか。

総務部長 議会を市民生活、福祉の向上を議論する場とするため要望した。

問 昨年9月9日の海老根議員への議長の裁量は適切か。

総務部長 市として答弁を控える。

問 昨年9月27日の議員除名議決に対する市長の意見はどうか。

総務部長 市として答弁を控える。

問 昨年9月30日の伊藤議長辞職、新議長互選についてはどうか。

総務部長 市として答弁を控える。

問 本年3月22日の県の審決での市議会への取消命令についてはどうか。

総務部長 市として答弁を控える。

Q ピアエデュケーションの導入は A まずは教職員がしっかりと研修

須藤 日米代 議員



問 心の教育についての考えと必要性は。

教育部長 道徳教育だけでなく、全ての教育活動の中で培われていかなければならない。平成30年度より特別

問 本年3月27日頃の市の財政課の海老根議員への320万円支払いはどうか。

総務部長 議会事務局からの予算要望により補正予算を編成し、平成29年6月定例会にて報告、承認された。

問 3地区の区長数、対人口比は東地区は区長5人に区民2000人、大間々地区は区長15人に区民2万人、笠懸地区は区長10人に

区民3万人、区長1人区民が400人、1300人、3000人の不平等を改めず何年も放置していた。この是正の有無については。

総務部長 現在、32の行政区それぞれコミュニティを形成し、積極的な活動を行っている。

教科として道徳科が創設される。大きな要として豊かな心の育成をいっそう重視する。

問 心の教育の現状は。

教育部長 小学校では助産師会による命の授業、富弘美術館での詩画鑑賞、サッカー協会の夢の教室がある。中学校では思春期講演会、赤ちゃんふれ合いセミナー、3年に一度の演劇鑑賞など豊かな心を育成している。

問 道徳科の評価方法は。

教育部長 子どもたちの実態を把握し、文章など子どもの良さを評価していく方法。

問 エイズまたは妊娠しやすい年齢についてなど、思春期の子どもたちの心と体の教育および支援は。

教育部長 中学校で心身の性的発達、異性の尊重、性情報への対処、エイズおよび性感染症の予防方法、妊娠しやすい年齢の教育は行

※ピアエデュケーション…仲間教育

問 観光案内所や旧奥村酒



荻野 忠議員

Q 最近の観光政策は見切り発車が多い A そのようには、考えていない

造の取り組みおよび低速バスの導入にあたり、設計委託の直前に設計図を提示し議会に説明している。運営についても、これから検討するということ、見切り発車が多いと感じているが、市長 見切り発車とは考えていない。いまある資源を

活用し散策などで消費を行う仕掛けを考えている。問 大間々町商工会が20年もの大間々駅前を街の活性化とともに観光の拠点と捉え取り組んでいた。なぜ観光案内所計画時に相談をしなかったか。

っていない。
問 スクールカウンセラーの現状は。
教育部長 県費で5人、市費で8人のカウンセラーが各学校へ週1回から2回、児童や保護者の相談にのっている。
問 児童虐待の予防と早期発見の観点から、歯科保健は重要だと考えるが。
教育部長 虐待を見抜く一つのきっかけとして、注視していく。
問 小中学校フッ化物洗口導入についての考えは。
教育部長 費用負担、洗口

を行う時間、場所の確保など検討が必要である。
問 今後の心と体の教育にピアエデュケーションとD[※]E[※]T導入の考えは。
教育部長 まずは教職員がしっかりと研修し、積極的に取り入れることも必要である。
問 安心支援事業のサポートと登録者の現状は。
保健福祉部長 現在サポート35人、登録者36人。
問 支援の対象となる人口は。
保健福祉部長 65歳以上1万4192人、75歳以上6



588人、一人暮らし高齢者1579人。
問 東町の取り組みは。
保健福祉部長 利用希望者もいる。引き続き働きかけをする。

産業観光部長 観光案内所は、市直営の施設として考え取り組んだ。
問 観光案内所の建設までにかかった総費用、そして最近の経費と売り上げ利益の関係は。
産業観光部長 総額で約5597万円。年間経費は約748万円、うち臨時職員の経費は約576万円。商品は小平の里から預かっている。観光案内が目的なので売り上げ利益はない。
問 旧奥村酒造の購入と設計、改修費などを含めた経費は。
産業観光部長 土地取得費は約1395万円。建物は無償。設計と改修費などで約4263万円。
問 運営方法などは未定だったが、費用対効果やマーケティングの議論は。
産業観光部長 観光の拠点なので、費用対効果は出していない。まちなかへの経済効果はあると期待している。調査は行っていない。
問 老朽化した建造物の購入基準は。購入依頼があれば購入するのか。



産業観光部長 明確に定めたいが、政策判断として購入した。
問 この周辺には古い建造物があるが、伝統的建造物群保存地区の考えは。
副市長 歴史的背景を踏まえ、中心街の保存活用を通じて観光振興を図りたい。
問 低速バスの購入を決めてから運営や運行方法を検討しているようでは行政として計画性が足りない。購入費用や今後の計画は。
産業観光部長 購入金額は約1559万円で、この秋に導入される予定だ。観光イベントとまちなか散策に使用したい。

※DET…障害平等研修

Q 現在のSOSカードは

A 瞬時に確認できる物を検討

宮崎 武議員



問 みどり市における薬物乱用防止活動の状況は。

保健福祉部長 薬物乱用防止の各団体にお願ひし、推進を行っている。

問 過去にみどり市在住者が、覚醒剤を有名元野球選手に継続し販売していたという前例もある。みどり市として主体的に防止活動に取り組んではどうか。

保健福祉部長 今後は、桐生保健所など関係団体と連携し、防止各団体と共に連携強化し、主体的に防止活動を推進したい。

問 独居高齢者約1650人の緊急時対応として、現在作成配布済みのSOSカ

ードをみどり市産の桜の端材を使った木製ストラップにしてはどうか。

保健福祉部長 緊急時の対応として使用してもらえないものに変更したい。

問 現在のSOSカードは、笠懸町時代の作成で時代に合わず、胸に下げるタイプで、あたかもSOSを発信しているかのような形態であり、かつ、私は独居高齢者ですと言って歩くかのようなので、利用してもらえないのではないか。

保健福祉部長 現在、独居高齢者の資料を精査し、氏名、住所、緊急連絡先の氏名、電話番号の4項目が緊急搬送時などの場合、瞬時に確認できる物を検討している。

問 みどり市民のゴミ出しのルールについてモラルの向上が定着したと思っっているが、どのようなモラル向上の啓発を行っているのか。

市民部長 みどり市ホームページやゴミカレンダーなどでルールやモラルの向上に努めている。

問 みどり市が行っている啓発方法は理解するが、全てが市民に対するお願ひであって、みどり市としての施策ではない。みどり市主

Q こうみんかndeスタディーを恒常的な事業にしては

A 充実できる方法を検討したい

今泉 健司 議員



問 平成29年度こうみんかndeスタディー事業の、児童生徒、地域ボランティアの参加人数は。

体の施策として柵作成の補助金制度はあるのか。

市民部長 ゴミ袋など整然と整理ができるゴミステーションの柵作成の補助金制度などは行っていない。

問 現在、多くある直置きのごみステーションを、補助金制度の導入による整然とゴミが出せる環境づくりが、ゴミ出しのモラル向上を進めるための施策となると考えるが。

市民部長 行政区長など関

教育部長 3つの公民館合計で、児童生徒285人。地域ボランティア27人。

問 児童生徒からの意見は。

教育部長 夏休みの宿題を指導してもらえて良かったなど。

問 基礎学力の向上のため、こうみんかndeスタディーを恒常的な事業にしては。

教育長 今後、充実できる方法を検討したい。

係団体と協議しモラル向上を推進したい。



※写真はイメージです。

問 みどり市民体育館（桐生大学グリーンアリーナ）で開催されるスポーツ大会やイベントで、2つの商工会などと協力し、みどり市ブランドや市内店舗の飲食、物品の販売を検討しては。

教育部長 みどり市民体育館条例改正を慎重に検討していく。

問 スポーツ施設の名称を企業などに売却して資金を

問 現在の自主防災組織の



新井 みゆき 議員

Q 避難所で共同生活のシミュレーションをすべきだ
A 避難所運営マニュアルを作り実行したい

得る、施設命名権収入の今後の取り組みは。
教育部長 今後も当該事業者に依頼するとともに、利用者が多く宣伝できる施設へのネーミングライツスポンサーの募集を検討したい。
問 関東大会や全国大会へ出場した選手、団体の遠征費全額補助の考えは。
教育部長 様々な制約があるため、研究課題としたい。
問 小平の里への集客やブランド戦略などの提案は。
産業観光部長 年に1回、経営方針意見交換の場などを設けている。今後は、情

報交換をより密にし、情報発信提案を行っていききたい。
問 小平の里公有地化事業の展望は。
産業観光部長 今後は、公有地化計画に基づき用地取得を進めたい。
問 小平の里の駐車場整備の考えは。
産業観光部長 当面は案内方法の工夫も含め、近くの駐車場へ案内を行いたい。
問 小平の里に電気自動車充電スポット設置の考えは。
副市長 費用対効果や設置場所の研究を行い、総合的に検討したい。



問 小平の里に観光客を呼ぶための施策は。
市長 みどり市の主要観光施設として、公有地化を順次進めていきながら、必要な整備を図っていききたい。

設立状況は。
危機管理監 平成29年7月末日現在で、32行政区中22の行政区に23の自主防災組織が設立されている。
問 設立に至っていない行政区に対する働きかけは。
危機管理監 自主防災組織の重要性は認識されている

が、高齢化を背景に人材不足などの理由で設立ができない地域がある。今後も区長に設立を依頼していききたい。
問 非常備蓄食料品の食物アレルギー対策は。
危機管理監 平成29年度にアレルギー物質の入ってい

ない非常備蓄食料品の購入を予定している。
問 避難所での共同生活を想定し、シミュレーションをするべきだが。
危機管理監 避難所運営の基本的な考え方や具体的な方策をまとめた避難所運営マニュアルに着手し実行したい。
教育部長 共同生活の場面を設定し、みどり市防災計画に基づき、訓練を積み重ねていきたい。
問 災害現場の視察や調査分析を行ってきたか。
危機管理監 災害現場への視察は行っていない。
問 早急に視察すべきであるが。
危機管理監 視察は災害対策を講じる意味でも意義がある。早急に視察の機会を設けたい。
問 市民サービス向上のために、どのような研修を行っているのか。
総務部長 人材育成基本方針に基づき、職員の能力を最大限に引き出すことを目的に研修を行っている。平成29年度は28件を予定して



いる。これは人事評価分析に基づき、課題を明らかにしたうえで取り組んでいる。
問 行政サービスの基盤として職員のメンタルヘルス対策は重要であるが。
総務部長 組織で仕事をしているということ認識し、解決方法の協議ができる環境を職員自ら作ってほしい。
問 学童保育所に手作り感のあるおやつを提供を要望したが、改善されたか。
保健福祉部長 運営主体が様々であるが、月に20日ほどスナック菓子ではなく調理パンや菓子などの提供が行われている。



笠懸町
上村 隆志

卒煙講座

約6年前、家内に勧められて地域の卒煙講座に参加しました。自発的ではないし、失敗しても仕方ないと軽い気持ちで大間々保健センターに行ってみると、笑顔で迎えてくれた保健師さんは、まさかの友人の姉。これは真剣に取り組まねばと肝を冷やしました。禁煙の効果や煙草の害、禁煙開始後の離脱症状のケアなどとても丁寧に教えて頂き、無事に禁煙に成功し、以降1本も吸っていません。広報誌には、こういった無料の講座などいろいろな情報が載っていますので、皆様も有効利用し、町のコミュニケーションに参加してみたいかがでしょうか。なかなか楽しいものですよ。



東町
山本 芳美

東町での暮らし

警察官である夫の異動に伴い、みどり市東町に転入して3年がたち、夫も私も東町の住民として地域の活動に参加する機会が多くなります。

月に一度開かれる介護予防教室「いきがい」は毎回工夫を凝らした内容で、何よりそれに和気あいあいと取り組む皆さんのパワーに元気をもらっています。オートキャンプ場でイベントがあるときやあじさい祭りなど、地域のイベントのお手伝いに呼んでもらえると、私もここの住民として認められている、と嬉しくなります。東町の活性化に繋がる地域活動が更に活発に行われることを願っています。



大間々町
鈴木 杏

祖母のおはぎ

私の祖母は、お彼岸におはぎをいつも作ってくれます。祖母の作るおはぎは甘すぎず、とても食べやすく何個でも食べられるおいしさです。私は、そんな祖母のおはぎを今年も食べ、おはぎを作ってみたいと思いました。次のお彼岸のときに祖母に作り方を教えてもらい、作ってみたいと思います。おはぎは昔、ご先祖様にお供えをして「家族みんなが無事に生活が出来ますように」とお願いをするものでした。私も次回おはぎを作るときに、そのようにしてお供えをしたいです。

みなさんもぜひ、おはぎをつくり、お供えをしてお願いごとをしてみてください。

編集後記

平成29年5月15日の議会内改選により、平成27年度から引き続き副委員長を拝命いたしました。市民の皆様と議会をつなぐ情報誌として、活用できるように取り組みたいと考えております。

さて、今年の異常な気象は7月末に出現したオホーツク海高気圧に伴う北東からの冷たい気流によるもので、8月前半は北日本太平洋側では日照不足かつ低温、東日本太平洋側では日照不足と伝えられ、一方の沖縄・奄美では高温が持続しました。7月以降は9月18日現在で3件の台風が上陸し、特に九州地方では、甚大な被害をもたらしました。

災害でお亡くなりになられた方のご冥福を祈るとともに、被害にあわれ

た方へ心よりお見舞い申しあげます。

毎年、第3回定例会は決算議会とも呼ばれ、文字どおり、決算特別委員会を設置し、9月12日から15日の4日間にわたり一般会計から14件の特別会計を集中審査いたしました。質疑内容も市民生活の安定のために予算執行が公平公正になされたものかなど審査し、濃密なものとなりました。(須永信雄)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮崎 武 |
| 副委員長 | 須永 信雄 |
| 委員 | 椎名 祐司 |
| 〃 | 大澤 映男 |
| 〃 | 武井 俊一 |
| 〃 | 新井みゆき |
| 〃 | 今泉 健司 |
| 〃 | 深澤 輝彦 |